

「相談支援部会」中間報告について

1 報告事項

(1) 第42回相談支援部会（平成29年6月30日開催）

ア 第29回刈谷市障害者自立支援協議会における相談支援部会関係の報告について

刈谷市障害者自立支援協議会（平成29年5月15日開催）にて報告した相談支援部会での昨年度の検討事項と結果及び今年度の検討事項を確認した。

イ 相談支援体制の整備について

(ア) 相談支援体制の検討

事例検討研修会で話し合われた内容を更に深めたい場合、部会で検討できるよう毎行っている事業所報告の様式の項目を一部修正し、追加することとした。

また、事業所間での集計方法を統一することにより、正確に相談件数等を集計できるようにする。

(イ) 支援先一覧の検討

昨年度から検討を重ねている事業所マップについて、地図に駅や小学校などの施設を追加することで、位置感覚をつかみやすくした。平成29年10月1日付けでHPへ掲載し、各相談支援事業所等へ配付する。

(ウ) 相談支援体制の整備

昨年度から引き続き人数不足であり、モニタリングをこなしきれない等という問題はあるが、1回の訪問で複数のことを行う等、時間短縮のための工夫をして現状の相談員数でもサービスの質が下がらないようにしていきたい。新しい相談支援事業所ができることが1つの解決方法となるため、市が推薦して相談支援専門員の初任者研修を受けた事業所に相談支援事業の開始を働きかけていきたい。

ウ 障害者差別解消法に関する課題の有無について

特になし。

2 総括及び検討課題

(1) 相談支援体制の整備について

事業報告書の様式を改善することにより、より正確な数を計上できるようにしたり、自事業所が経験した良かった事例なども報告できるようにしたりする。好事例を事業所間で共有することにより社会資源の新しい活用方法などを知ることができるようになる。また、昨年度から引き続き利用者数が多く相談員不足という問題があるため、今年度完成した市内事業所をまとめた事業所マップを活用したり、時間短縮のための工夫をしたりすることにより相談業務の効率化を図っていく。

今後は、具体的に相談員一人あたりの相談件数や時間数を計上し、具体的にどの業務に時間がかかり人数不足になるのかを確認し、改善方法を検討していく。